

【施策概要】 いわて特別支援教育推進プラン（2024～2028）

岩手県教育委員会

本県特別支援教育の方向性を示す「いわて特別支援教育推進プラン（2024～2028）」では、これまでの推進プランの基本理念である「共に学び、共に育つ教育」を継承するとともに、すべての人が互いを尊重し、心豊かに主体的に生活することができる共生社会の実現を目指していきます。

「いわて特別支援教育推進プラン（2024～2028）」は、国の動向や、本県の特別支援教育に関する現状等を踏まえた上で、「つなぐ」、「いかす」、「支える」の三つのキーワードによる具体的施策の一層の推進を図ります。

方向性

主な施策

「就学から卒業までの一貫した支援の充実」

つなぐ

早期からの継続した教育支援体制の充実

就学前及び、就学移行期に焦点を当てた具体的施策を展開し、早期からの教育支援体制の充実につなげる取組

卒業後を見据えた支援の充実

地域や企業、関係機関とのつながりを生かすとともに、卒業を見据えた進路・就労支援、学校や企業との情報共有による、卒業後の自立と社会参加を見据えた支援の充実に向けた取組

・「教育支援のためのガイドライン」の改訂と早期からの教育相談・支援の充実

・引継ぎシート等による継続した支援

・県教育支援委員会による市町村教育支援委員会への助言・援助

・就労支援ネットワーク会議等を活用した、高等学校等への情報提供

・各特別支援学校における地域企業との連携

・地域の特色を生かした技能認定会の実施・啓発と教育活動の充実

「各校種における指導・支援の充実」

いかす

地域資源等を活用した指導・支援の充実

特別支援学校や福祉機関等との連携、すべての校種における特別支援教育体制への支援、相談体制の整備等による、地域資源を活用した指導・支援の充実に向けた取組

多様なニーズに対応した指導・支援の充実

学習指導要領の改訂等を踏まえた各校種における特別支援教育の推進、教職員の専門性の向上に焦点を当て、多様なニーズに対応した指導・支援の充実につなげた取組

連続性のある多様な学びの場の充実

児童生徒等へのねらいを明確にした上で、各校種に応じた交流及び共同学習の充実につなげる取組

・継続型訪問支援・随時相談支援を活用した指導・支援

・地域における特別支援教育コーディネーター連絡会を活用した指導・支援

・複数校の特別支援学級が連携した授業交流・研修等

・各校種間の交流人事促進

・エリアコーディネーターによる関係者等の連絡・調整・研修支援

・関係者による意見交換や情報共有を図る協議の場の設置

・各校種の特別支援教育の推進に係る指導・支援・研究

・多様性を前提とした学級経営、教科教育と特別支援教育の融合

・各校種における管理職・特別支援学級・通級による指導担当教員を対象とした継続的な研修

・特別支援学校における研究・研修の充実による授業力向上

・市町村教育委員会教育支援担当指導主事等の研修

・すべての校種における交流及び共同学習

「教育環境の充実・県民理解の促進」

支える

多様なニーズに対応した教育諸条件の充実

多様な学びの場、外部専門家、医療との連携、医療的ケア児への対応等、多様なニーズに対応した教育環境の充実に向けた取組

共生社会の形成に向けた県民の理解

県民を対象とした公開講座やサポーターの養成、スポーツ文化芸術活動等を通して、共生社会の形成に向けた県民の理解につなげる取組

・特別支援学級・通級指導教室の総合的観点による整備

・特別支援教育支援員等の総合的観点による配置

・特別支援学校の整備推進

・地域に根ざす特別支援学校分教室の運用

・特別支援学校分教室における小・中・義務教育学校児童生徒の「共学籍」を活用した交流及び共同学習

・医療との連携による多様な学びの場の保障

・医療的ケア児に係る看護職員の配置

・医療的ケアアドバイザーの委嘱

・県民向け公開講座

・特別支援教育サポーター養成

・スポーツ活動、文化芸術活動を通じた生きがいづくり、地域とのつながりづくり



詳しくは、岩手県Webページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/kyouiku/gakkou/tokubetsu/index.html>

QR
コード

